

下流域地域協議会におけるモデル地区を中心とした事業展開

【行為許可】をテーマとして、管理瑕疵の問題、利用プログラムの実施条件、利用者属性ごとの情報提供のあり方等、既存の河川区域を、営造的に整備しすぎずに、どのように利用者に安全に供用するかの検討を行う

◆豊里自然地区のたまり・ヨシ原



たまり、ヨシ原



バクダン池



ヨシ原の観察(イメージ)

(1) モデル地区

- ・豊里自然地区
- ・守口地区

※守口地区は都市再生機構の事業の進捗に併せて、議論の対象とするかを今後判断

(2) 検討内容と具体の課題

① 行為許可

豊里自然地区をモデルに、河川区域を営造的に整備しすぎずに公園として供用する場合の利用ルール、管理瑕疵、利用者への周知方法、利用プログラムのあり方を検討・試行

② 植生管理

河川公園の植物管理において、管理コストの縮減と粗放管理を両立させる植生管理のあり方を検討

(3) 直近の事業展開

3月	4月	5月	6月	7月
● 事例視察(泉佐野) → 利用ルール ・管理瑕疵の考え方 ・参画型プログラム内容			● ワーキング開催 → 現状確認 ・開園準備シナリオ ・今後の体制	

【参考】他公園における“造りすぎない”公園づくり



大阪府宮泉佐野丘陵緑地(泉佐野丘陵緑地HPより)